



BX GROUP

2025年3月期 決算説明資料

2025年5月21日

文化シヤッター株式会社

目 次

P2 2025年3月期の実績について

P3 業績

P4 「売上高」「営業利益」の増減要因

P5 2026年3月期の見通しについて

P6 業績見通し

P7 「売上高」「営業利益」の増減要因

P8 セグメント別「売上高」「営業利益」「受注」実績と予想

P9 中期経営計画の進捗状況について

P10 BXグループの使命とめざす姿

P11 中期経営計画における重点施策

P12 【資本コスト経営の実践】経営指標

P13 【資本コスト経営の実践】BxVAツリー図

P14 【事業戦略】戦略的成長投資の推進で社会課題の解決に貢献

P15 【事業戦略】基幹事業「シャッター事業」「ドア事業」

P16 【事業戦略】基幹事業「パーティション事業」「住宅建材事業」

P17 【事業戦略】注力事業「エコ&防災事業」「海外事業」

P18 【事業戦略】注力事業「メンテナンス事業」「建築資材事業」
「リノベーション事業」

P19 【財務戦略】株主還元の拡充

P20 【経営基盤強化】サステナビリティへの対応

P21 トピックス

P22 創立70周年の取り組み他

P23 参考資料

P24 BXグループの概要

P25 BXグループの事業別構成

P26 連結貸借対照表

P27 連結キャッシュフロー計算書

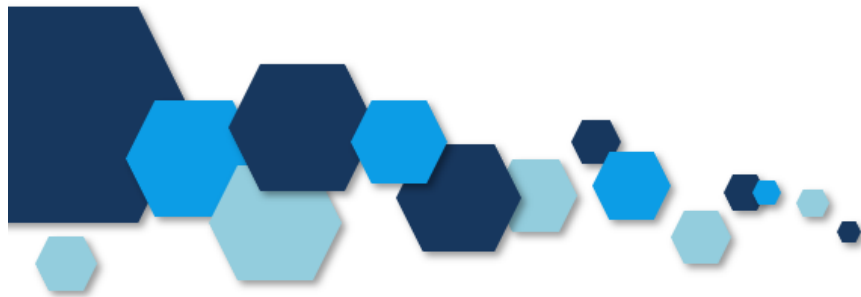
P28 【財務戦略】キャッシュフローアロケーション

P29 【事業戦略】海外事業の業績概要

P30 政策保有株式について

P31 事業環境

2025年3月期の実績について



		'24.3期	'25.3期（中計1年目） （単位：百万円）					
		実績	計画	実績	前期比		計画比	
					伸率	増減	達成率	増減
売上高		221,076	230,000	228,419	103.3%	7,342	99.3%	△ 1,581
営業利益		14,472	15,000	14,726	101.8%	254	98.2%	△ 274
営業利益率		6.5%	6.5%	6.4%	-	△0.1%	-	△0.1%
経常利益		15,941	15,400	14,777	92.7%	△ 1,163	96.0%	△ 623
当期純利益		10,582	11,400	13,158	124.4%	2,576	115.4%	1,758
1株当たり配当金		55円	64円	74円	134.5%	+19円	115.6%	+10円
設備投資額		4,826	8,000	6,232	129.1%	1,406	77.9%	△ 1,768
減価償却費		5,451	6,265	6,430	118.0%	979	102.6%	165
期末 従業員 (人)	正社員	5,290	5,400	5,369	101.5%	79	99.4%	△ 31
	臨時雇用者	1,203	1,220	1,210	100.6%	7	99.2%	△ 10
	合計	6,493	6,620	6,579	101.3%	86	99.4%	△ 41

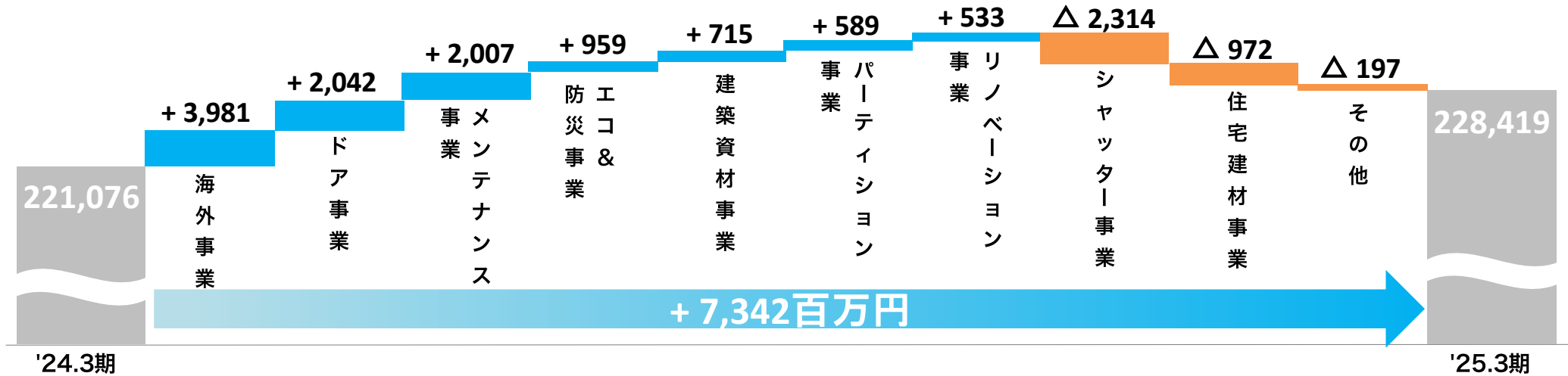
ポイント説明

- ◆ '25.3期は、「売上高」「営業利益」は計画未達ながらも増収増益。
- ◆ 「当期純利益」には、政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益と、受取賠償損害金を特別利益として計上。
- ◆ 配当性向40%の目安どおり、「1株当たり配当金」は19円増配の74円を予定。
- ◆ 設備投資額 約62億円の主な内訳は、
 - ・生産性向上を目的とした生産設備の刷新と、工場の建替えを含めた建屋の老朽化対策などで約56億円。
 - ・働き方改革、生産性向上に向けたソフトウェア開発費などシステム関連投資で約6億円。

「売上高」「営業利益」の増減要因

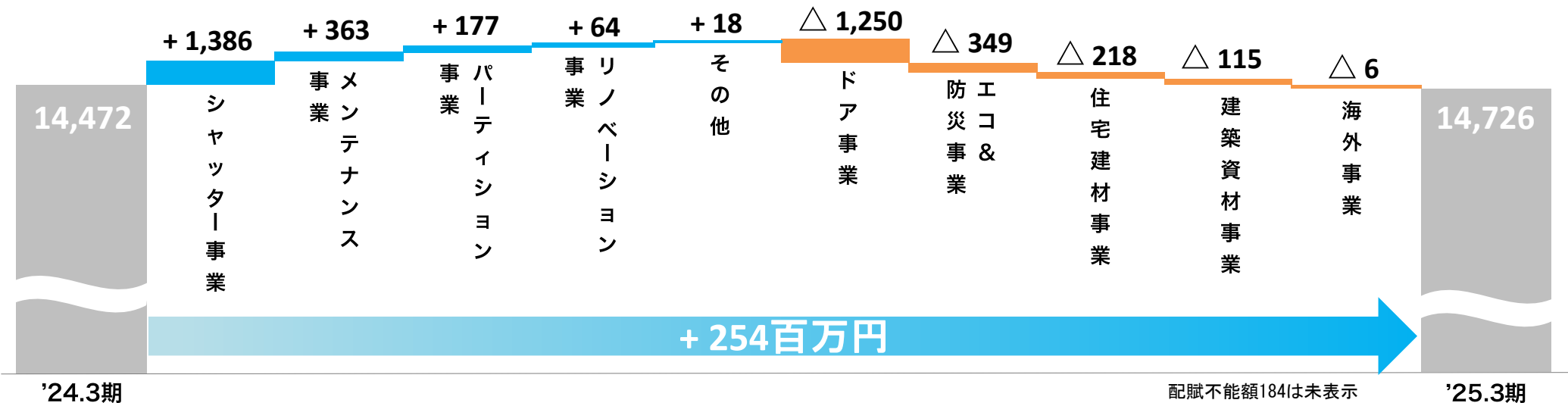
「売上高」は73億4,200万円の増収

(単位：百万円)

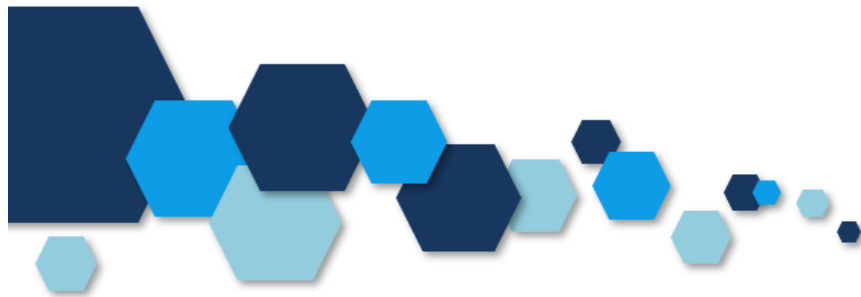


「営業利益」は2億5,400万円の増益

(単位：百万円)



2026年3月期の見通しについて



		'25.3期 (中計1年目)	'26.3期 (中計2年目) (単位：百万円)		
		通期実績	通期予想	前期比	
				伸率	増減
売上高		228,419	240,000	105.1%	11,581
営業利益		14,726	16,800	114.1%	2,074
営業利益率		6.4%	7.0%	-	0.6%
経常利益		14,777	16,500	111.7%	1,723
当期純利益		13,158	11,500	87.4%	△ 1,658
1株当たり配当金		74円	74円	-	-
設備投資額		6,232	8,000	128.4%	1,768
減価償却費		6,430	7,000	108.9%	570
期末 従業員 (人)	正社員	5,369	5,460	101.7%	91
	臨時雇用者	1,210	1,200	99.2%	△ 10
	合計	6,579	6,660	101.2%	81

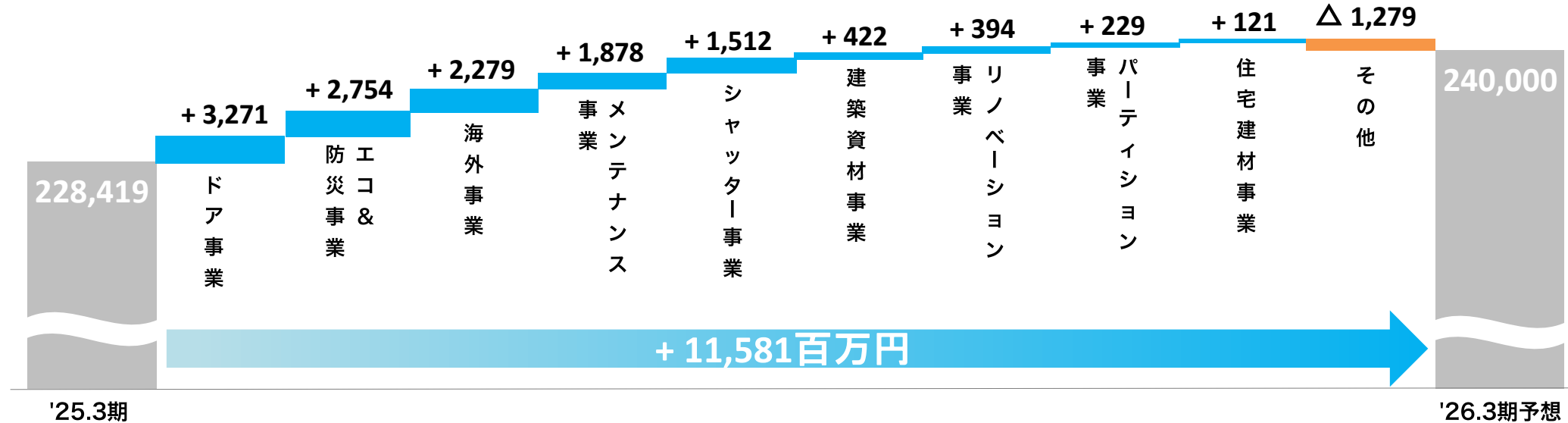
ポイント説明

- ◆ 「売上高および営業利益」
「売上高」は、前期比5.1%増の2,400億円、
「営業利益」は、前期比14.1%増の168億円を
予想。
- ◆ 「1株当たり配当金」は、年間74円を予定。
- ◆ 「設備投資額」80億円の主な内訳は、
 - ・ 基幹工場における生産性向上を目的とした生産設備の刷新と、老朽化対策に伴う建屋の建替えなどで約72億円。
 - ・ 働き方改革、生産性向上を図るためのシステム関連投資などで約8億円。

「売上高」「営業利益」の増減要因

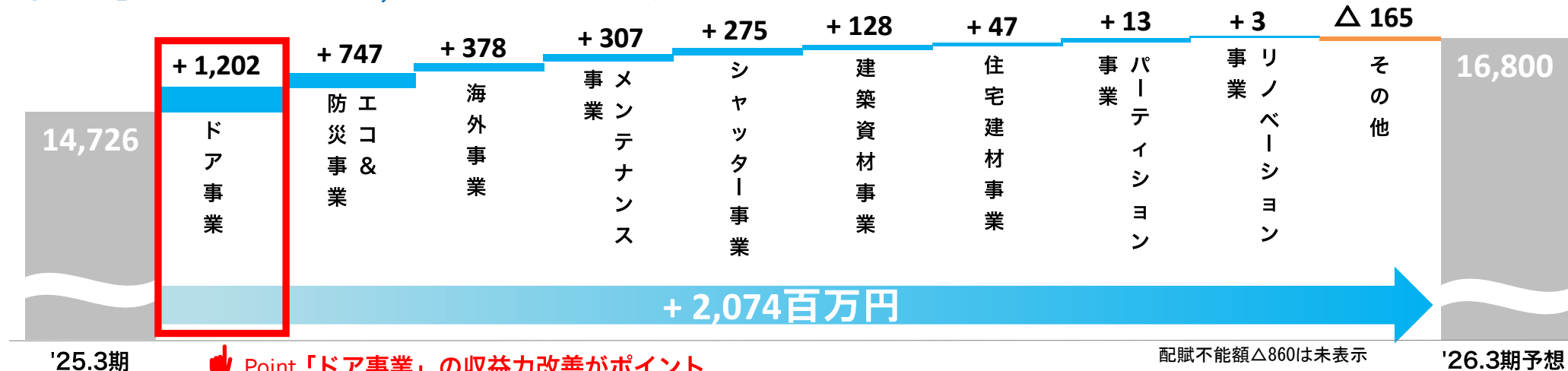
「売上高」は前期比115億8,100万円の増収を見込む

(単位：百万円)



「営業利益」は前期比20億7,400万円の増益を見込む

(単位：百万円)



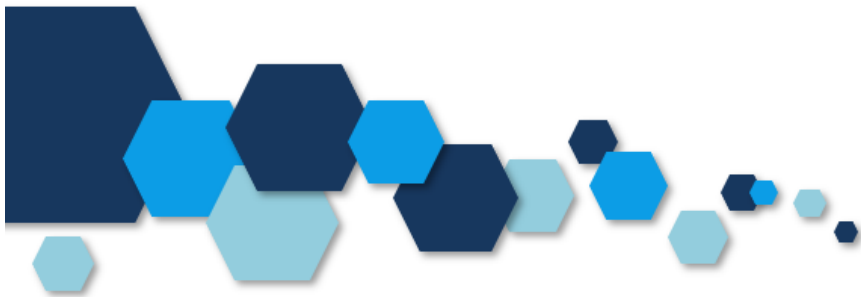
👉 Point 「ドア事業」の収益力改善がポイント

配賦不能額△860は未表示

セグメント別「売上高」「営業利益」「受注」実績と予想

	'25.3期						'26.3期					
	上期実績			通期実績			上期予想			通期予想		
＜売上高＞		伸率	増減		伸率	増減		伸率	増減		伸率	増減
シャッター関連製品事業	43,299	104.7%	1,936	93,196	102.3%	2,102	44,800	103.5%	1,501	97,700	104.8%	4,504
建材関連製品事業	38,774	101.2%	444	89,979	102.4%	2,108	39,740	102.5%	966	94,250	104.7%	4,271
サービス事業	14,372	109.2%	1,206	31,122	106.9%	2,006	15,280	106.3%	908	33,000	106.0%	1,878
リフォーム事業	2,816	90.5%	△ 294	6,506	108.9%	532	2,800	99.4%	△ 16	6,900	106.0%	394
その他事業	3,034	112.2%	330	7,615	108.4%	592	3,380	111.4%	346	8,150	107.0%	535
合 計	102,298	103.7%	3,623	228,419	103.3%	7,342	106,000	103.6%	3,702	240,000	105.1%	11,581
＜営業利益＞												
シャッター関連製品事業	3,449	113.0%	398	9,705	111.3%	987	3,300	95.7%	△ 149	10,300	106.1%	595
建材関連製品事業	266	21.4%	△ 977	3,420	77.3%	△ 1,006	300	112.6%	34	4,750	138.9%	1,330
サービス事業	2,421	114.9%	314	5,643	106.9%	363	2,600	107.4%	179	5,950	105.4%	307
リフォーム事業	△ 49	-	△ 69	47	-	64	△ 40	-	9	50	104.7%	3
その他事業	415	114.1%	51	1,263	115.3%	167	440	105.9%	25	1,350	106.9%	87
配賦不能額	2,613	105.7%	140	5,353	106.4%	322	2,700	103.3%	87	5,600	104.6%	247
合 計	3,890	90.2%	△ 424	14,726	101.8%	254	3,900	100.3%	10	16,800	114.1%	2,074
＜受注残高＞												
シャッター関連製品事業	39,299	105.1%	1,913	36,681	105.7%	1,984	41,400	105.3%	2,101	37,000	100.9%	319
建材関連製品事業	57,871	111.2%	5,812	51,854	108.5%	4,075	63,000	108.9%	5,129	55,400	106.8%	3,546
サービス事業	5,722	114.1%	707	4,534	110.8%	442	5,800	101.4%	78	4,600	101.5%	66
リフォーム事業	1,820	158.9%	675	939	82.8%	△ 195	1,800	98.9%	△ 20	950	101.2%	11
その他事業	4,702	120.6%	804	4,405	134.9%	1,140	5,500	117.0%	798	5,050	114.6%	645
合 計	109,415	110.0%	9,909	98,416	108.2%	7,448	117,500	107.4%	8,085	103,000	104.7%	4,584
Point 受注残高は前期比8.2%増と高水準												
＜受注高＞												
シャッター関連製品事業	47,901	107.3%	3,276	95,180	103.8%	3,513	49,518	103.4%	1,617	98,018	103.0%	2,838
建材関連製品事業	48,867	102.6%	1,231	94,054	101.2%	1,159	50,885	104.1%	2,018	97,795	104.0%	3,741
サービス事業	16,002	111.0%	1,583	31,564	107.2%	2,119	16,545	103.4%	543	33,065	104.8%	1,501
リフォーム事業	3,501	124.8%	695	6,311	111.5%	652	3,660	104.5%	159	6,910	109.5%	599
その他事業	4,472	137.3%	1,214	8,755	126.1%	1,812	4,474	100.0%	2	8,794	100.4%	39
合 計	120,745	107.1%	7,999	235,867	104.1%	9,258	125,083	103.6%	4,338	244,583	103.7%	8,716
Point 受注高は前期比4.1%増と高水準												

中期経営計画の進捗状況について



BXグループの使命

人、社会、環境にやさしい「多彩なモノづくり」、「サービス」を通じて社会の発展に貢献し、人々の幸せを実現することが、BXグループの使命です。

BXグループのめざす姿

時代は進化しつづけます。BXグループも常にお客様に「安心」「安全」を提供する『快適環境ソリューショングループ』として進化していきます。

永続的利益の拡充に努め、適切なCFアロケーションにより、安定、充実した株主還元や、ESG対応、人的資本のさらなる充実に努め、恒久的な企業価値の創出をめざします。

あらゆる事業活動において、優れた品質で社会の発展に貢献し、すべてのステークホルダーからの期待に応えていきます。

BXグループの めざす姿

常にお客様に「安心」「安全」を提供する
『快適環境ソリューショングループ』として進化していく

中期経営計画テーマ：恒久的な企業価値の創出をめざして

中期経営計画 重点施策

1. 資本コスト経営のさらなる推進
2. 利益向上に向けた事業戦略
3. 事業成長や株主還元のバランスを意識した財務戦略
4. サステナビリティを追求した経営基盤強化

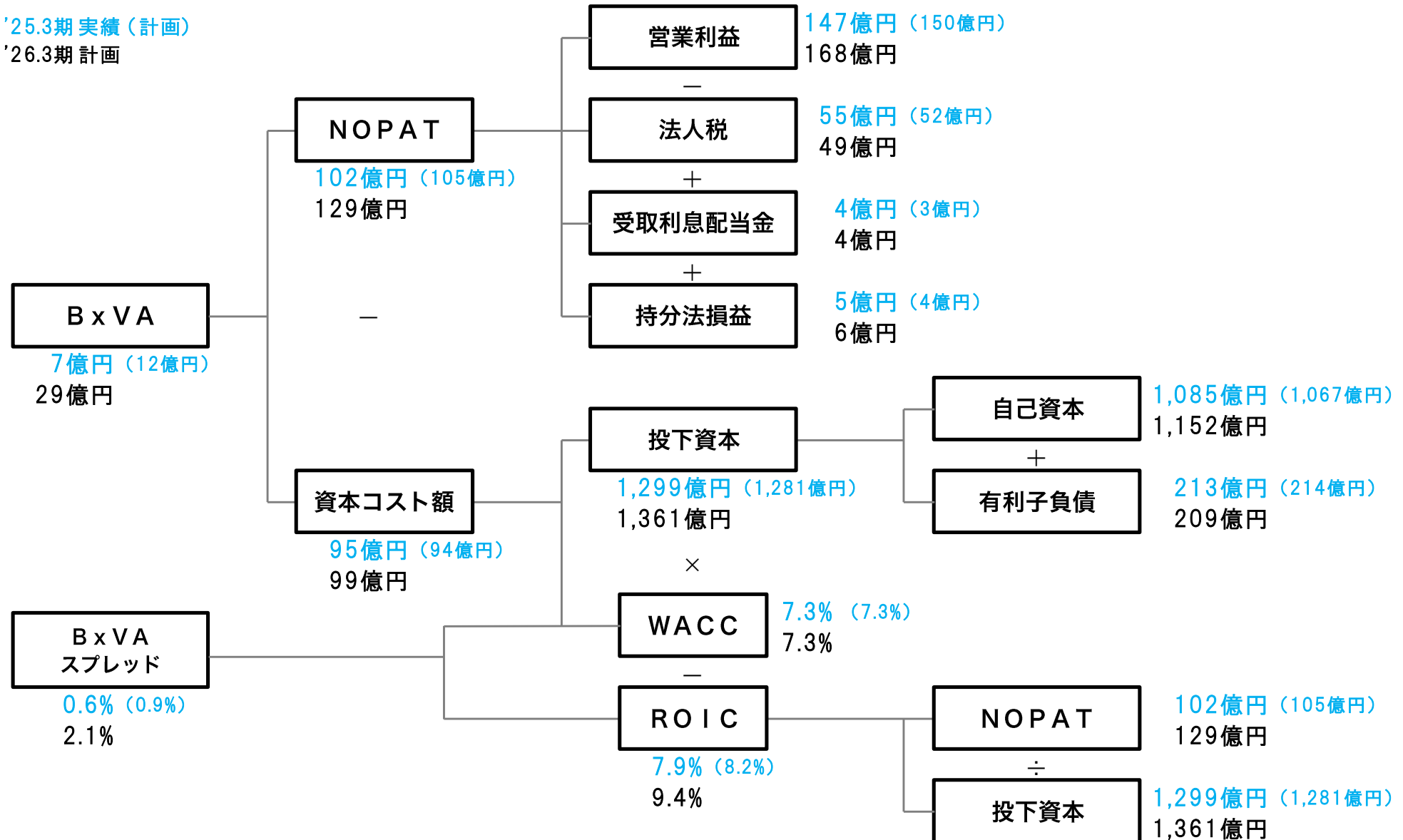
売上高・営業利益の持続的成長とあわせて資本効率も追求し、中計2年目の'26.3期は ROE 10.0%、WACC 7.3%に対してBxVAスプレッドは 2.1%となる ROIC 9.4% をめざす。

	中期経営計画の 重要な経営指標	'25.3期 計画	'25.3期 実績	'26.3期 計画	'27.3期 計画
収益性	売上高	2,300億円	2,284億円	2,400億円	2,500億円
	営業利益	150億円	147億円	168億円	188億円
	営業利益率	6.5%	6.4%	7.0%	7.5%
資本効率性	ROA	5.4%	6.4%	5.5%	5.6%
	ROIC	8.2%	7.9%	9.4%	9.1%
	ROE	10.7%	12.1%	10.0%	11.0%
	BxVA	12億円	7億円	29億円	27億円
	BxVAスプレッド (ROIC-WACC)	0.9%	0.6%	2.1%	1.8%
財務健全性	DEレシオ	0.19	0.19	0.17	0.28
	自己資本比率	50.6%	55.3%	55.6%	49.6%

※ BxVA (Bx Value Added) : 投下資本に対する付加価値額を表す

【資本コスト経営の実践】BxVAツリー図

'25.3期 実績（計画）
'26.3期 計画



【事業戦略】 快適環境ソリューショングループとして

■戦略的成長投資を推進

基幹事業

シャッター事業、ドア事業
パーティション事業、住宅建材事業

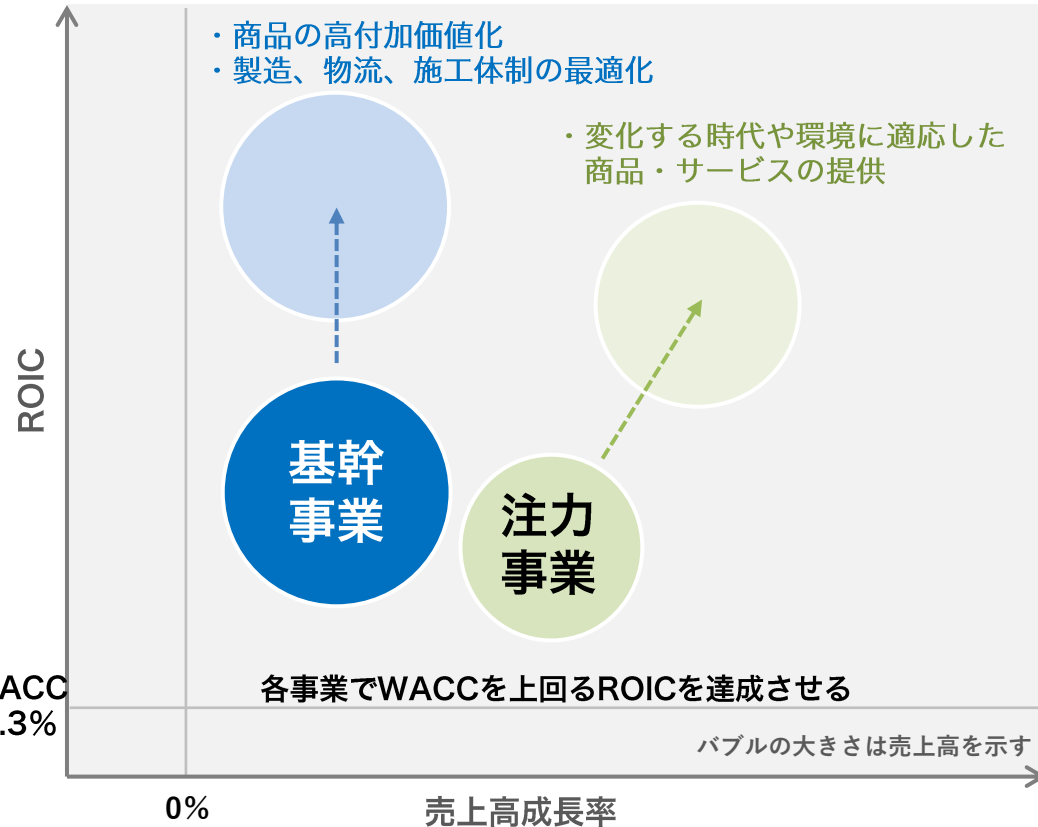
収益性向上のための設備投資
やシステムへの投資

注力事業

エコ&防災事業、リノベーション事業
建築資材事業、メンテナンス事業
海外事業

事業規模の拡大、
新たな事業領域への投資

事業の方向性



■商品・サービスを通じた社会課題の解決に貢献

社会環境・課題

地球温暖化

CO₂排出量の削減につながる環境
負荷の少ない商品やサービスへの
ニーズの高まり

集中豪雨による浸水被害

都市型水害による建物への
浸水被害の拡大

台風の強大化による風災害

近年の気候変動に伴う台風の
強大化による風災害への備え

震災および二次被害

震災による建物や建具への
ダメージ、火災等の二次被害

快適な暮らしへの要望

安心・安全で快適な生活

商品・サービス展開

基幹事業



～接着工法（無溶接）～
環境配慮型スチールドア「SGD」

注力事業



屋内用遮熱シート
「はるクール」



止水ドア
「アクアード」



BX止水板
「ラクセット」



ウインドブロックシリーズ
「重量シャッター」



窓シャッター
「マドマスター高耐風モデル」



対震性能付マンション玄関引戸
「ヴァリフェイスAe」



住宅用制振装置
EQ GUARD/EQ GUARD M



防犯性能の高い
ガレージシャッター（CP認定品）



シャッター修理・点検
（24時間365日受付）

シャッター事業



住宅用オーバースライディングドア
「フラムヴェスタ」

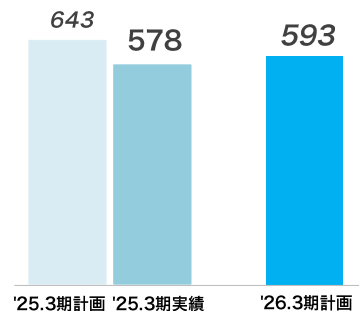


ガレージシャッター
「シャルティエ」

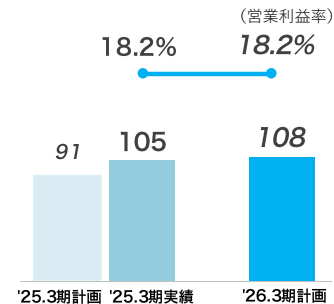
'25.3期は、重量シャッターの数量が減少した一方で、適正な販売価格の引上げにより、売上高は前期比3.8%減の578億円(計画未達)。営業利益は同15.2%増の105億円(計画達成)。

'26.3期は、シャッター全体の受注拡大、高付加価値商品の拡販、適正な販売価格の引き上げなどの施策を実行することで、売上高は前期比2.6%増の593億円、営業利益は同2.6%増の108億円(営業利益率18.2%)を計画。

売上高(億円)



営業利益(億円)



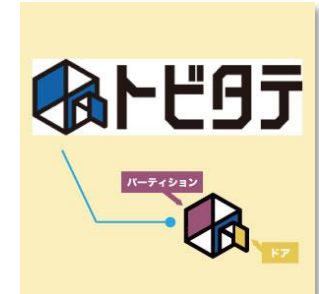
ドア事業



自動閉鎖装置付引戸
「カームスライダー」



ステンレス建具
「リブレイド」

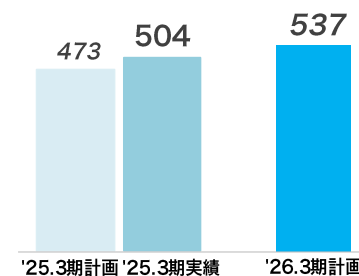


DP商品の新ブランド
「トビタテ」

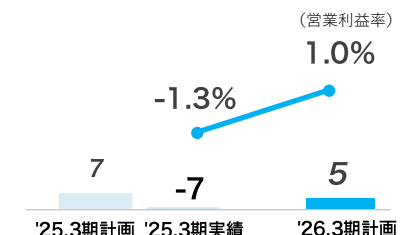
'25.3期は、主力のスチールドア、引戸や集合住宅向けドアが堅調に推移したことにより、売上高は前期比4.2%増の504億円(計画達成)。スチールドアの収益構造の整備未達により、営業利益はマイナス(計画未達)。

'26.3期は、グループ全体でスチールドアのコストダウンと適正な販売価格の引上げをはじめ、収益構造の改善により、売上高は前期比6.5%増の537億円、営業利益は同5億円(営業利益率1.0%)を計画。

売上高(億円)



営業利益(億円)



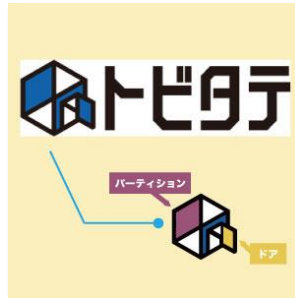
パーティション事業



トイレブース
「プレクリンPC」



学校用間仕切
「プレウォール」



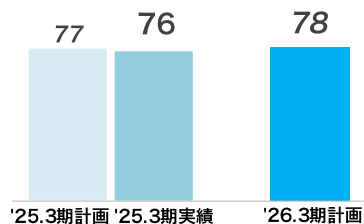
DP商品の新ブランド
「トビタテ」

'25.3期は、トイレブースの売上が堅調に推移したことで、売上高は前期比8.4%増の76億円(計画未達)。

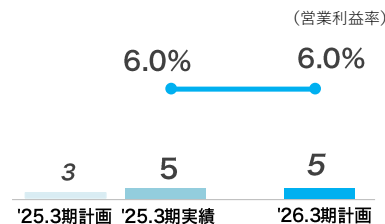
営業利益は同63.2%増の5億円(計画達成)。

'26.3期は、学校間仕切のスペックイン活動強化を含めたパーティションの受注拡大により、売上高は前期比3.0%増の78億円、営業利益は前期並みの5億円(営業利益率6.0%)を計画。

売上高(億円)



営業利益(億円)



住宅建材事業



屋外鉄骨階段廊下ユニット
「段十廊II」

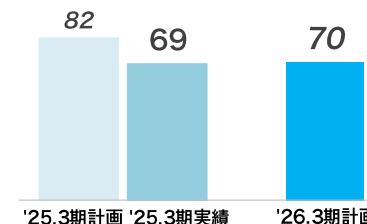


住宅用室内階段
「BXモダンステアーズ」

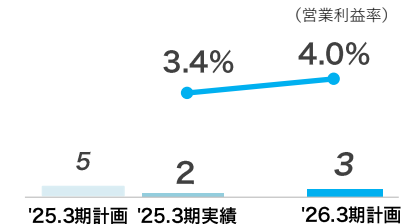
'25.3期は、新設住宅着工戸数の減少を背景に、売上高は前期比12.3%減の69億円(計画未達)。営業利益は同48.1%減の2億円(計画未達)。

'26.3期は、堅調な受注状況を背景に、ZEH住宅に提案できる室内階段の拡販とリノベーション物件への対応強化を図ることで、売上高は前期比1.7%増の70億円、営業利益は同20.0%増の3億円(営業利益率4.0%)を計画。

売上高(億円)



営業利益(億円)



エコ＆防災事業



高気密性能の高速シートシャッター
「大間迅」



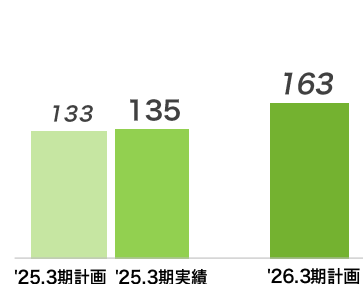
木材・プラスチック再生複合材
「テクモク」

’25.3期は、止水板「ラクセット」をはじめとした止水商品や、屋内用遮熱シート「はるクール」、高気密性能の高速シートシャッター「大間迅」の売上が堅調に推移したことで、売上高は前期比7.6%増の135億円(計画達成)。

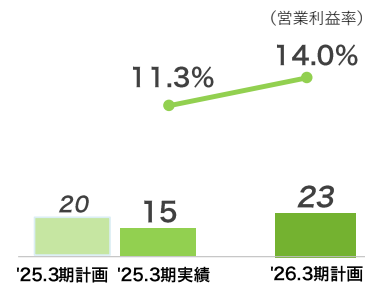
営業利益は同18.5%減の15億円(計画未達)。

’26.3期は、堅調な受注状況の止水商品と、法改正に伴う職場における熱中症対策の強化を背景とした遮熱事業をグループ全体で強化・拡充することに加えて、木材・プラスチック再生素材を活用した「テクモク」の拡販により、売上高は前期比20.3%増の163億円、営業利益は同48.6%増の23億円(営業利益率14.0%)を計画。

売上高(億円)



営業利益(億円)



海外事業



BX BUNKA VIETNAMの工場外観(上)と
工場内にあるショールーム



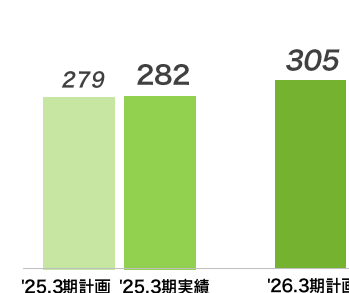
住宅ガレージドア
(BX BUNKA AUSTRALIA)

’25.3期(’24.12期)は、豪州での販売価格の引き上げと、豪州及びニュージーランドの新規に連結した3社の業績がフルで寄与したことにより、売上高は前期比16.4%増の282億円(計画達成)。

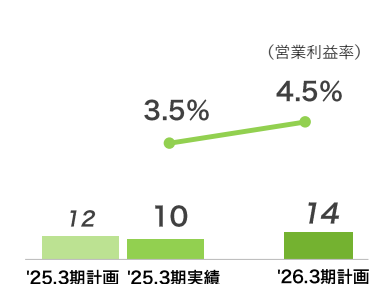
一方、ニュージーランドにおける物価高を背景とした住宅市場の停滞やコスト増により利益が減少したことで、営業利益(※)は同0.6%減の10億円(計画未達)。

’26.3期(’25.12期)は、豪州・ニュージーランドでは販売価格の引き上げ、ベトナムでは受注拡大を推し進めることで、売上高は前期比8.1%増の305億円、営業利益(※)は同37.9%増の14億円(営業利益率4.5%)を計画。 ※ 営業利益は日本会計基準

売上高(億円)



営業利益(億円)



メンテナンス事業



防火設備検査

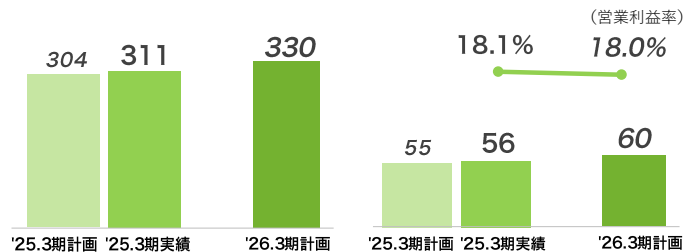


「はるクール」設置作業

'25.3期は、修理需要が堅調に推移したことで、売上高は前期比6.9%増の311億円(計画達成)。営業利益は同6.9%増の56億円(計画達成)。

'26.3期は、堅調な受注状況を背景に、売上高は前期比6.0%増の330億円、営業利益は同5.4%増の60億円(営業利益率18.0%)を計画。

売上高(億円)



建築資材事業



建築金物「プレセッターSU」
(BXカネシン)

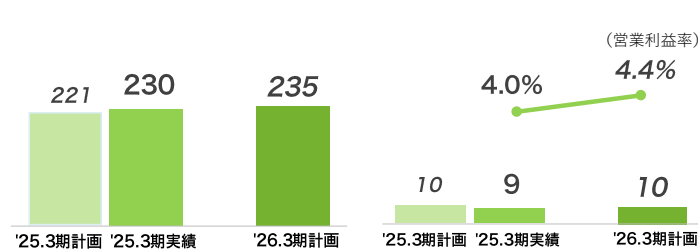


ユニット鉄筋「ハッピーベース」
(BX西山鉄網)

'25.3期は、建築金物を扱うBXカネシンの売上が堅調に推移したことで、売上高は前期比3.2%増の230億円(計画達成)。一方で、物流費が増加したことで、営業利益は同11.2%減の9億円(計画未達)。

'26.3期は、BXカネシンによる多目的木造建築への対応強化と、基礎建築材料を扱うBX西山鉄網の生産性向上により利益改善を推し進めることで、売上高は前期比1.8%増の235億円、営業利益は同14.0%増の10億円(営業利益率4.4%)を計画。

売上高(億円)

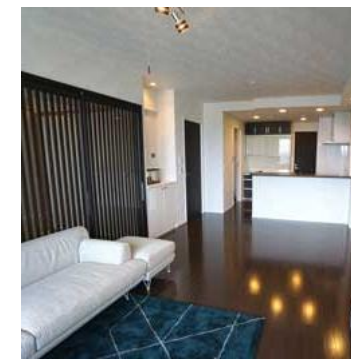


営業利益(億円)

リノベーション事業



マンション耐震補強工事
(ビルリニューアル)

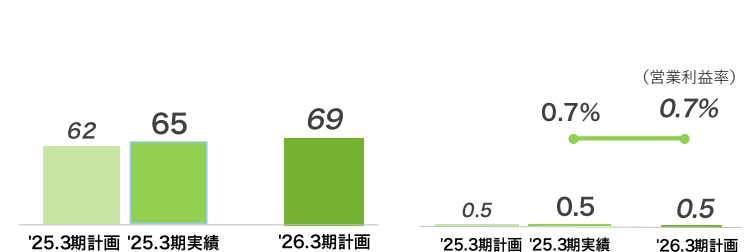


住宅リフォーム

'25.3期は、住宅リフォーム事業が単価アップによる増収の一方で、営業黒字には届かなかったものの赤字幅は縮小。ビルリニューアル事業は堅調に推移した結果、売上高は前期比8.9%増の65億円(計画達成)。営業利益は黒字回復(計画未達)。

'26.3期は、住宅リフォームにおいて空間改修や外装工事への注力を推し進めることで、売上高は前期比6.1%増の69億円、営業利益は5,000万円(営業利益率0.7%)を計画。

売上高(億円)



営業利益(億円)

配当性向40%を目安

'25.3期は40%を実行

'26.3期は45.8%を予想

1株当たり配当金の増額

'24.3期の配当金は年間55円

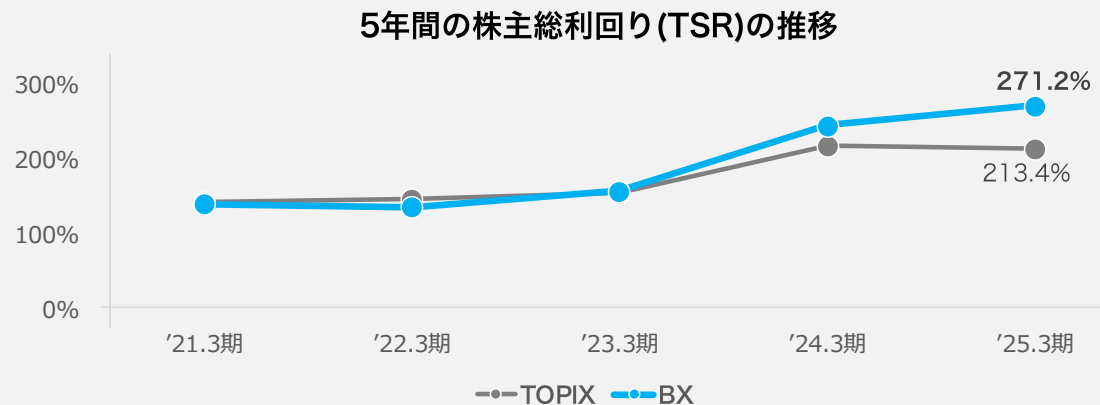
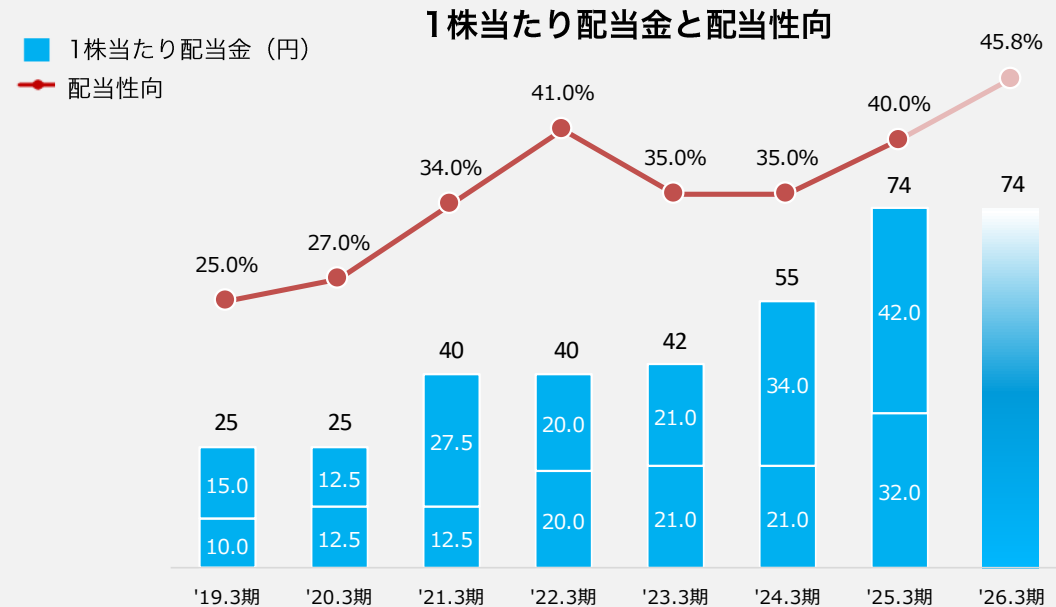
'25.3期は19円増配の年間74円を予想

自己株式の取得

'26.3期に上限20億円(115万株)の取得を予定

配当込みTOPIXを上回る 株主総利回り (TSR)

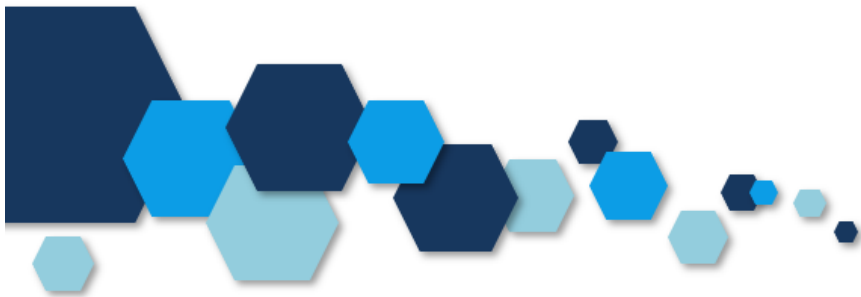
過去5年間の株主総利回り (TSR)は
271%と配当込みTOPIXを57.8%上回る
パフォーマンス



- BXグループがめざす「快適環境ソリューショングループ」の実現に向けて、サステナビリティの追求を図る。
- 重要テーマである「気候変動」「人的資本」「人権」への対応を通じた経営リスクの縮小によって資本コストを低減させ、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に繋げていく。

重要テーマ	'25.3期 実績・取り組み事項	'27.3期 目標・KPI
気候変動への対応	• エコ&防災事業の拡大（遮熱製品への注力） • 新商品開発テーマの環境配慮商品比率 40%	• CO2排出量削減 【Scope1,2】 29.4%削減（2019年度比） 【Scope3】 調達・物流：17.5%削減（2019年度比） • エコ&防災事業の強化・拡充 • 新商品開発テーマ環境配慮商品比率：50%
人的資本の充実	• 障害者雇用率：2.51%（文化シャッター単体） • 女性管理職比率：4.14%（文化シャッター単体）	• 障害者雇用率：2.7%（文化シャッター単体） • 女性管理職比率：8.2%（文化シャッター単体）
人権の尊重	• 人権デューディリジェンスの実施	• 場内協力会社、工事会社等に対する人権調査実施

トピックス



<取り組み>

◆ マスコットキャラクターを制作&スローガンを策定(2025年4月)

4月18日に創立70周年を迎え、株主やお客様をはじめとするステークホルダーの皆様への感謝とあわせて、BXグループの使命のもとで、“シャッターだけじゃない”取り組みを周知するべく、マスコットキャラクターを制作&スローガンを策定。



マスコットキャラクター
「ぶ〜しゃ」

シャッターだけじゃない。
文化シャッター

スローガン



ロゴマーク

<新商品>

◆ 住宅用オーバースライディングドア「フラットピット」をフルリニューアル(2025年4月)

車が2台収納できるハイグレード仕様の住宅用ガレージドア「フラットピット」をフルリニューアル。

トレンドに合わせたカラーバリエーションの刷新および安全性が高い「多光軸センサ」を標準装備。



<事業>

◆ BXグループのドア事業会社6社を東西の2社に統合(2025年4月)

BXグループの中核事業のひとつであるドア・パーティション事業の強化・拡大策として、市場への対応力を高めるとともに、顧客ニーズへのきめ細かな図るため、東日本エリアはBXティアル、BX鐵矢、BX東北鐵矢の3社をBXティアルとして統合。

西日本エリアは、BXルーテス、BXケンセイ、BX文化パネルの3社をBXルーテスとして統合。

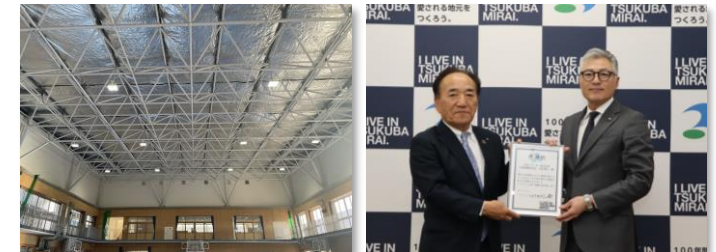


<社会貢献>

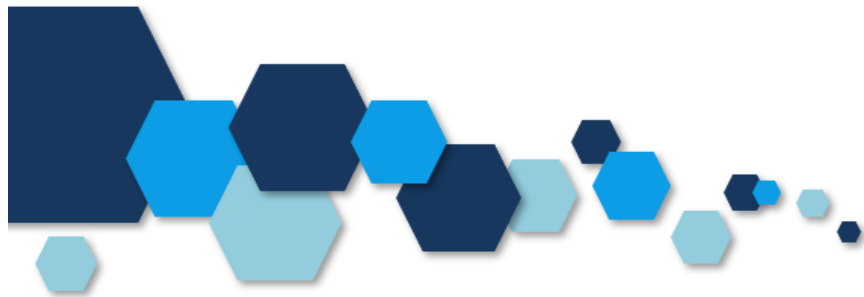
◆ 企業版ふるさと納税として屋内用遮熱シート「はるクール」をつくばみらい市に寄付(2025年3月)

茨城県つくばみらい市立富士見ヶ丘小学校の体育館に、企業版ふるさと納税として設置した屋内用遮熱シート「はるクール」を寄付。

小田川市長より空調設備の効率化につながる取り組みとして、感謝状を贈呈いただきました。



参考資料



■社 是	「誠実 努力 奉仕」
■経営理念	「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」 「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」 「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
■概 要	文化シャッター株式会社及び連結子会社28社（2025年4月末現在）
■事 業	シャッター事業、ドア事業、パーティション事業、住宅建材事業、 エコ&防災事業、建築資材事業、メンテナンス事業、 リノベーション事業、海外事業
■拠 点	311営業拠点 135サービス拠点 35工場（2025年4月末現在）
■従業員数	5,369名（2025年3月末現在）

【文化シャッター株式会社（単体）】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 小倉 博之
設 立 1955年（昭和30年）4月18日
資本金 15,051百万円
本 社 東京都文京区西片1-17-3

シャッター事業

- ・BX新生精機(株)
「電動開閉機」製造・販売
- ・BX沖縄文化シャッター(株)
「シャッター」製造・販売

エコ&防災事業

- ・BXテンパル(株)
「オーニング」製造・販売
- ・(株)エコウッド
「環境建材(再生複合材)」製造・販売

ドア事業、パーティション事業

- ・BXルーテス(株)
「ドア」製造・販売
- ・BXティアール(株)
「ドア」「スライディングウォール」
製造・販売
- ・BX朝日建材(株)
「ドア」製造・販売
- ・BX紅雲(株)
「ステンレス建材」製造・販売
- ・不二サッシ(株)グループ (※)
「ビル用サッシ他」製造・販売

建築資材事業

- ・BXカネシン(株)
「建築金物」開発・販売
- ・BX西山鉄網(株)
「建築資材」製造・販売

メンテナンス事業

- ・文化シャッターサービス(株)
「シャッター・ドア等の修理・点検」

リノベーション事業

- ・BXゆとりフォーム(株)
「住宅リフォームの設計・施工・請負」

その他事業

- ・BXあいわ(株)
「損害保険代理業」
- ・BX TOSHO(株)
「建築構造設計」

海外事業

<オセアニア・オーストラリア>

- ・BX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD (事業会社8社)
「ガレージドア」「シャッター」製造・販売・施工・アフターメンテナンス

<ASEAN・ベトナム>

- ・BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.
「シャッター」「ドア」「オーニング」製造・販売
- ・BX SHINSEI VIETNAM Co.,Ltd.
「電動開閉機」製造・販売

<オセアニア・ニュージーランド>

- ・BX BUNKA NEW ZEALAND LIMITED (事業会社4社)
「ガレージドア」「シャッター」製造・販売

- ・EUROWINDOW.,JSC (※)
「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造・販売

連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

	'24.3期		'25.3期		増	減
		構成比		構成比		前期末比
流動資産	120,049	58.0	117,344	57.2	△ 2,705	97.7
現金・預金	40,151	19.4	40,109	19.5	△ 42	99.9
受取手形・売掛金・契約資産	57,567	27.8	54,919	26.8	△ 2,648	95.4
棚卸資産	19,880	9.6	19,654	9.6	△ 226	98.9
その他	2,451	1.2	2,662	1.3	211	108.6
固定資産	86,830	42.0	87,638	42.8	808	100.9
土地	13,121	6.4	13,506	6.6	385	102.9
投資有価証券	19,940	9.6	19,269	9.4	△ 671	96.6
その他の投資・資産	2,447	1.2	2,633	1.3	186	107.6
その他	51,322	24.8	52,230	25.5	908	101.8
資産合計	206,879	100.0	204,982	100.0	△ 1,897	99.1
流動負債	65,559	31.7	55,554	27.1	△ 10,005	84.7
支払手形・買掛金	37,157	18.0	27,597	13.5	△ 9,560	74.3
短期借入金	2,169	1.0	2,081	1.0	△ 88	95.9
その他	26,233	12.7	25,876	12.6	△ 357	98.6
固定負債	37,395	18.1	35,977	17.6	△ 1,418	96.2
社債	10,000	4.8	10,000	4.9	10,000	100.0
長期借入金	3,209	1.6	2,440	1.2	△ 769	76.0
退職給付に係る負債	16,433	7.9	15,409	7.5	△ 1,024	93.8
その他	7,753	3.8	8,128	4.0	375	104.8
負債合計	102,954	49.8	91,532	44.7	△ 11,422	88.9
純資産合計	103,924	50.2	113,450	55.3	9,526	109.2
負債・純資産合計	206,879	100.0	204,982	100.0	△ 1,897	99.1

1株当たり純資産

1,458円84銭

1,592円13銭

期末株価

1,740円

1,878円

PBR（株価純資産倍率）

1.19

1.18

Point
'25.4月以降はPBR1.4倍前後で推移中

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	'24.3期	'25.3期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	15,642	10,975	△ 4,667
税金等調整前当期純利益	15,873	18,643	2,770
減価償却費	4,704	5,338	634
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△ 2,985	2,721	5,706
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 3,068	△ 9,738	△ 6,670
棚卸資産の増減額 (△は増加)	188	283	95
法人税等の支払額	△ 3,522	△ 6,920	△ 3,398
その他	4,452	648	△ 3,804
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,894	△ 3,745	13,149
投資有価証券の売却による収入	86	1,699	1,613
投資有価証券の取得による支出	△ 25	△ 23	2
有形固定資産の売却による収入	23	103	80
有形固定資産の取得による支出	△ 3,834	△ 4,806	△ 972
無形固定資産の取得による支出	△ 801	△ 541	260
その他	△ 12,343	△ 177	12,166
3. フリーキャッシュ・フロー	△ 1,252	7,230	8,482
4. 財務活動によるキャッシュ・フロー	9,513	△ 6,795	△ 16,308
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△ 130	△ 140	△ 10
長期借入れによる収入	4,000	150	△ 3,850
長期借入金の返済による支出	△ 13	△ 868	△ 855
配当金の支払額	△ 2,792	△ 4,710	△ 1,918
その他	8,448	△ 1,227	△ 9,675
5. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,122	543	△ 7,579
6. 現金及び現金同等物の期首残高	31,027	39,149	8,122
7. 現金及び現金同等物の中間期末残高	39,149	39,693	544

➡ Point
フリーキャッシュ・フローは
84億円増

中長期的な事業環境変化に対応するための設備投資、戦略投資を行うとともに、株主還元を拡充する。

営業利益の成長と併せて、資本収益性の向上としてROE、ROICを高め、成長に必要なキャッシュフローの創出を図る。
加えて、最適資本構成の方針に基づき負債調達を実施する。



【事業戦略】 海外事業の業績概要

【円換算】

(百万円)

	'23.12期		'24.12期		
	実績	利益率	実績	利益率	前期比
売上高	24,443	-	28,254	-	115.6%
BXAU(※1)	20,602	-	23,823	-	115.6%
BXNZ(※2)	2,361	-	2,984	-	126.4%
BXVN(※3)	1,479	-	1,448	-	97.9%
営業利益(※4)	1,818	7.4%	2,167	7.7%	119.2%
BXAU	1,179	5.7%	1,615	6.8%	137.0%
BXNZ	623	26.4%	501	16.8%	80.5%
BXVN	17	1.1%	51	3.5%	302.0%

【現地通貨】

(千AU\$、千NZ\$、百万VND)

	'23.12期		'24.12期		
	実績	利益率	実績	利益率	前期比
売上高					
BXAU	\$ 220,748	-	\$ 238,299	-	108.0%
BXNZ	\$ 27,371	-	\$ 32,541	-	118.9%
BXVN	VND 251,555	-	VND 239,673	-	95.3%
営業利益(※4)					
BXAU	\$ 12,629	5.7%	\$ 16,154	6.8%	127.9%
BXNZ	\$ 7,218	26.4%	\$ 5,463	16.8%	75.7%
BXVN	VND 2,865	1.1%	VND 8,422	3.5%	294.0%

※1 BX BUNKA AUSTRALIA

BXAU子会社であるDOORWORKS社は2023年4月から、SPRINT社は2023年9月から連結

※2 BX BUNKA NEW ZEALAND

BXNZは2023年5月から連結

※3 BX BUNKA VIETNAMの売上高は現地会計基準に基づき算出

※4 営業利益は現地会計基準（のれんの償却費なし）に基づき算出

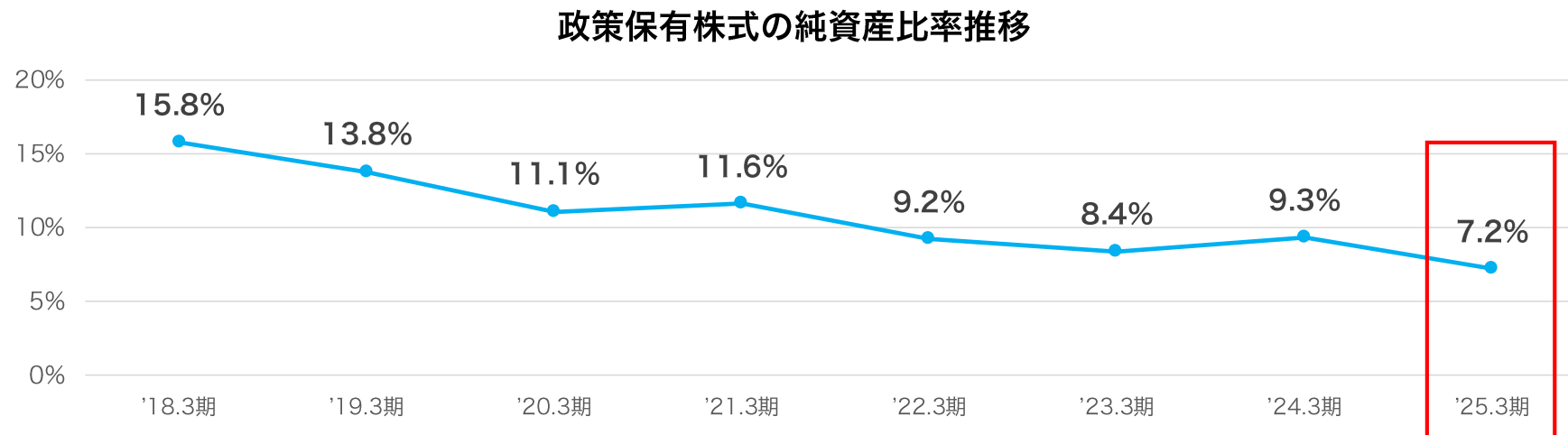
為替レート(※5)	'23.12期	'24.12期
円/AU\$	93.33	99.97
円/NZ\$	86.26	91.70
円/千VND	5.88	6.04

※5 為替換算レートは期中平均レートを採用

当社の保有している政策保有株式は、既に中長期的に保有している銘柄であり、毎年、個別銘柄毎に配当金・関連取引等の関連収益が当社資本コストに見合っているかを検証したうえで、その結果を参考に保有の適否を判断しております。なお、保有の合理性または必要性が認められなくなったと判断される銘柄については売却を推し進め、保有株式の縮減を図る方針としております。

当社は上記の方針に基づき、政策保有株式の縮減を進めており、政策保有株式残高の連結純資産に対する比率は、2018年3月期の15.8%から2025年3月期では7.2%へと縮減を進めております。

これらの政策保有株式に係る議決権の行使に当たっては、政策保有先の中長期的な企業価値向上の観点から当該企業の経営状況を勘案するとともに当社の企業価値の向上に資するか否かの観点にも照らし、議案毎の賛否を適切に判断することとしております。
なお、政策保有先から当社株式の売却等の意向が示された場合においても、その意向を妨げるような行為を行わないこととし、取引の継続等についても経済合理性を十分に検証のうえ、株主共同の利益向上の観点から適切に判断するものとしております。



<事業環境>	'24.3期		'25.3期		'26.3期	
	通期		通期		通期	
	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率
民間企業設備投資 (兆円)	91.2	99.9%	93.1	102.1%	95.1	102.1%
建築投資 (兆円)	36.9	103.1%	37.9	101.2%	37.5	100.8%
新設住宅着工戸数 (万戸)	80.0	93.0%	81.6	102.0%	78.6	96.3%
民間非住宅着工床面積 (万㎡)	3,883	89.7%	3,474	89.5%	3,697	106.4%
倉庫 (百万㎡)	11.7	92.2%	10.2	87.4%	10.3	101.0%
工場 (百万㎡)	7.2	82.7%	6.6	92.1%	7.5	113.6%
事務所 (百万㎡)	5.7	105.1%	4.6	81.2%	6.2	134.8%
店舗 (百万㎡)	3.6	84.9%	3.8	104.9%	3.8	100.0%

'26.3期の民間企業設備投資はシンクタンク各社の平均値
新設住宅着工戸数と民間非住宅着工床面積の予想は、シンクタンク予測平均から当社算出

ポイント説明

'26.3期は、企業の収益改善と雇用・所得環境が改善する中、個人消費や設備投資が景気を牽引し、回復が続く見通しであるが、日銀の利上げにより、住宅ローン等の金利上昇や、円高基調への転換も想定され、景気動向への注視が必要。

民間企業設備投資は、企業の収益改善を背景に設備投資意欲は継続し、省力化や省人化、DX関連や脱炭素関連投資などの押上げにより、成長率は前期比2.1%増を見込む。

建築投資額は、企業の設備投資意欲が継続することなどで前期比0.8%増を見込む。住宅では新設着工戸数の減少や建設コストの上昇による住宅投資の伸び悩み、リフォーム分野での投資の落ち込みを予想。非住宅では着工床面積ベースで前期比6.4%増を見込む。

<売上高における住宅向け・非住宅向け比率>

	'24.3期	'25.3期
住宅向け	40.5%	41.3%
非住宅向け	59.5%	58.7%

当社グループにおける売上比率

問い合わせ先

文化シャッター株式会社 広報室

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<https://www.bunka-s.co.jp/>